

フィールド⇄ワーク展
日々のアトリエに生きている

フィールド ← 日々のアトリエに生きている

ワーク展 → Saturday, 25 April → Sunday, 5 July 2020

2020.4.25 土 → 7.5 日 11:00-19:00

齋藤陽道
SAITO Harumichi

岡田美佳
OKADA Mika

澤田隆司
SAWADA Takashi

清水政直
SHIMIZU Masanao

似里力
NISATO Chikara

蛇目
HEBIME

field → **work**
Create in everyday life

東京都渋谷公園通りギャラリー
Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

休館日 | 月曜日（ただし5月4日は開館）、5月7日 | 入場無料
Closed | Mondays (except 4 May) and 7 May | Free admission

主催 | (公財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 東京都渋谷公園通りギャラリー
Organizer | Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery, Museum of Contemporary Art Tokyo,
Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture

東京都渋谷公園通りギャラリー
Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

文化でつながる。未来とつながる。
THE FUTURE IS ART
TokyoTokyo
FESTIVAL

令和2年 4月 1日

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
東京都渋谷公園通りギャラリー

本展は、アール・ブリュットや独学のアーティストなど多様な背景をもった創作活動に新たに注目し、独自の手法で創作を続けてきた岡田美佳、澤田隆司、清水政直、似里力、蛇目の5名の力のある作り手たちと、ひとりの写真家（齋藤陽道）の出会いをつくり、ご紹介する展覧会です。齋藤陽道は、本展のために昨年から今年にかけて、5名の作り手たちの日常空間に赴き、撮影を行いました。

本展では、5名の作り手たちの作品〈ワーク〉とともに、今回齋藤陽道が出会い、写した、作り手たちの生活や創作の現場〈フィールド〉をご覧ください。この両者を行き来していただくことで、作品鑑賞の場でありながら、作品鑑賞を媒介として、新たな他者との出会いへとイマジネーションの翼をひろげます。

「その場所に行き、出会い、知る」といったフィールドワークならではのアクティブな世界との関わり方をヒントとして、作品と作品の背後を捉えなおし、人の創造活動のはじまりを考えようという試みです。

展覧会概要

展覧会名：「フィールド⇄ワーク 展 日々のアトリエに生きている」

会期：2020年4月25日（土）～7月5日（日）

休館日：月曜日（ただし、5/4は開館）、5/7

会場：東京都渋谷公園通りギャラリー

入場料：無料

出展作家：齋藤陽道、岡田美佳、澤田隆司、清水政直、似里力、蛇目

主催：（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 東京都渋谷公園通りギャラリー

その他：新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、開催を一部中止等する場合があります。

■作家プロフィール

齋藤 陽道（さいとう はるみち） 1983-

東京都生まれ。写真家。都立石神井ろう学校卒業。なにげない日常や多様な背景をもつ人々など、さまざまな対象を真っ直ぐな視線で捉え、穏やかな光とともに写す。2010年、第33回キャノン写真新世紀優秀賞受賞。2014年、日本写真協会新人賞。2019年、写真集『感動、』を刊行。2020年、第45回「木村伊兵衛写真賞」ノミネート。



©SAITO Harumichi



岡田 美佳（おかだ みか） 1969-

東京都生まれ。糸、布、ビーズ、絵の具など独自の素材と刺繍技法で作品を制作。1992年から個展を各地で開催。食卓や風景を描き、雑誌『暮らしの手帖』や新聞などに掲載される。ポコラート全国公募展 2011 オーディエンス賞受賞。

澤田 隆司（さわだ たかし） 1946 -2013

兵庫県神戸市の片山工房にて、2003年から10年間スタッフとの協働による絵画の制作を行う。自力で動かせる右足首のスナップを使い、絵の具の入った紙コップやペンキの缶を蹴って描いた。2011年、「共生の芸術祭」出展。

清水 政直（しみず まさなお） 1936-

東京都生まれ。幼少期に失明。青年期より点字図書を通じ文学に親しむ。1990年代より、美術家・西村陽平を講師とする土粘土を使った造形ワークショップに参加。2019年、「トットARTS フェス 2019+わ！しながわ」展出展。

似里 力（にさと ちから） 1968-

岩手県生まれ。岩手県花巻市のるんびにい美術館に併設する「アトリエまゆ〜ら」で活動。糸を細かく切って結びなおし玉状に巻いていくユニークな手仕事を日課とする。2009年、岩手県芸術祭現代美術部門で優秀賞受賞。

蛇目（へびめ） 1982-

兵庫県生まれ。画家。高校中退後、独学で絵画の研究を始める。近年、アクリル絵の具を何層にも塗り固め彫刻刀で削り出す技法で制作を続ける。2018年、ローザンヌのアール・ブリュット・コレクションによる「日本のアール・ブリュット もうひとつの眼差し」展出展。

関連イベント

各イベントの詳細については、ウェブサイトに順次掲載します。

要申込のイベントは、開催日の30日前から受付開始します。参加費はすべて無料です（順不同）。

★多様な背景をもつ方々にご参加いただけるようアクセシビリティへの意識を高め、情報保障（手話通訳など）等を実施した事業づくりを行っていく予定です。

■アーティスト関連トーク

登壇者：清水政直（出展作家）、蛇目（出展作家）

板垣崇志（るんびにい美術館アートディレクター）

日時：2020年4月25日（土）14：00 -15：30

会場：東京都渋谷公園通りギャラリー（手話通訳付、事前申込不要）



■サイレントトーク（筆談）鑑賞ツアー

障害のある方もない方も一緒に、作品を観ながら筆談でお話ししましょう。

〔ファシリテーター：タップタップラボ〕

日 時：2020年5月3日（日）13：30 -14：30

6月21日（日）13：30 -14：30

会 場：東京都渋谷公園通りギャラリー（要事前申込（定員各回10名））

■スペシャルトーク「フィールドワークで世界をひらく」

本展参加の写真家・齋藤陽道と、都市の風俗から現代アート、アール・ブリュットまで広い視野でフィールドワークを続ける編集者の都築響一をむかえ、フィールドワークの魅力を語ります。

登壇者：齋藤陽道（出展作家）、都築響一（写真家・編集者）

日 時：2020年5月29日（金）19：00 -21：00

会 場：東京都渋谷公園通りギャラリー 交流スペース

（手話通訳付、要事前申込（定員30名予定））

■トークセッション「作り手のフィールドとワークを語る」

メインストリームではない場所で生みだされたアートを批評する試みは、まだ始まったばかりです。既存の美術批評に囚われない、新しい作品の読み解きや批評軸について、作家に身近な方と研究者を交えたディスカッションを行います。

Vol.1 岡田美佳と刺繍画

登壇者：村田真佐子（岡田美佳後援会理事長）、山崎明子（奈良女子大学教授/美術史・視覚文化論）

日 時：2020年5月2日（土）13：30 -15：00

会 場：東京都渋谷公園通りギャラリー 交流スペース

（要事前申込（定員30名予定））

Vol.2 澤田隆司と協働の絵画

登壇者：新川修平（片山工房理事長）、岡原正幸（慶應義塾大学教授/社会学・障害学）

日 時：2020年5月10日（日）13：30 -15：00

会 場：東京都渋谷公園通りギャラリー 交流スペース

（要事前申込（定員30名予定））



■ レクチャー & ワークショップ「視覚を超える造形」

特別支援学校教員として長年図工を担当し、視覚や触覚・聴覚などをテーマに作品制作を行ってきた美術家・西村陽平を講師に迎えます。

〔協力：ミューズ・カンパニー〕

講師：西村陽平（日本女子大学名誉教授・美術家）

日時：2020年6月6日（土）14：00 -16：00

会場：東京都渋谷公園通りギャラリー 交流スペース

（要事前申込（定員10名／18歳以上の方））

■ 学芸員によるギャラリートーク

日時：2020年6月27日（土）14：00 -15：00

会場：東京都渋谷公園通りギャラリー

（手話通訳付、事前申込不要）

※申込等詳細は、当ギャラリーWebサイトをご覧ください。

<http://inclusion-art.jp>

お問い合わせ

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当

（（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8

Tel : 03-5422-3151

Fax : 03-3464-5241

E-mail : inclusion@mot-art.jp



東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当 行

Fax : 03-3464-5241 E-mail : inclusion@mot-art.jp

取材および広報用画像について

本展覧会の取材を希望される場合は、本紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはEメールにてお申し込みください。また、本展覧会の広報用素材として6点の画像をご用意しております。希望されます場合は、画像番号をご記入の上、お申し込みください。

取材希望

画像使用希望

取材希望日時 :

使用希望画像 :

貴社名 :

貴媒体名 :

種別 : TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他
○印をお付けください

発行・放送予定日 :

ご担当者名 :

Eメールアドレス :

ご住所 : (〒)

お電話番号 :

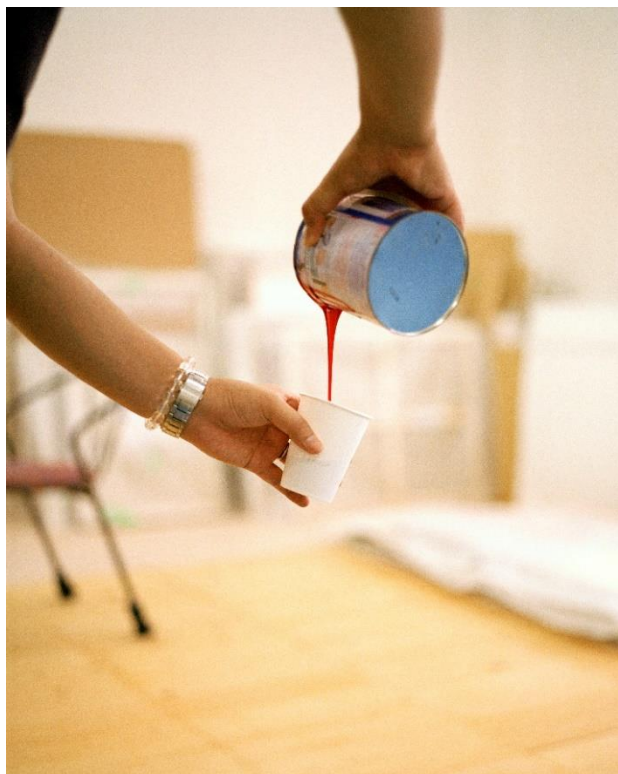
FAX :

その他 :

なお、取材および写真使用に際しましては、以下のことをお願いしております。

- ① キャプションは、作家名、作品名、制作年、コピーライト等を必ず表記してください。
- ② 作品画像のトリミング、文字載せはご遠慮ください。
- ③ 本展を紹介いただく場合には、恐れ入りますが掲載誌(紙)、DVD、CD等をご提供ください。

広報用画像一覧（出展作とは異なる場合があります（順不同））



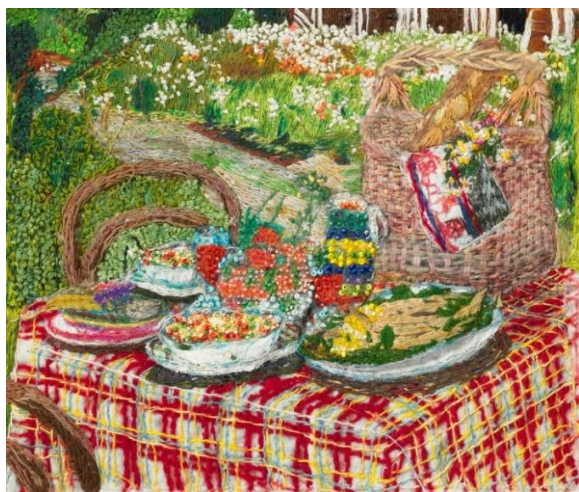
①

撮影：齋藤陽道 片山工房での撮影より
Courtesy of the artist



②

澤田隆司《無題》2005年
所蔵/画像提供：片山工房



③

岡田美佳《ハーブの庭》1996年
作家蔵
©MIKA OKADA



④

清水政直《密やかにくちばし》2018年
作家蔵
画像提供：西村陽平



⑤

似里力《無題》2009～2011年頃

作者蔵

画像提供：るんぴこい美術館



⑥

蛇目《Lab work》2017年

作家蔵

Courtesy of the artist

お問合せ／お申込み

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当

((公財) 東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

Tel : 03-5422-3151

Fax : 03-3464-5241

E-mail : inclusion@mot-art.jp

URL : <https://inclusion-art.jp>